

令和5年度 人権ポスター・人権標語優秀作品

人権ポスター優秀作品



二万小 2年 井川 華



二万小 6年 野口 結衣



箭田小 2年 守屋 希美



呉妹小 4年 渡邊 野乃



箭田小 5年 森定 愛心



呉妹小 3年 丸山 祐芽



真備中 1年 守屋 菜々穂



真備中 2年 飯橋 楓花



真備中 3年 村上 権穂

人権標語優秀作品

二万小学校	4年 秋好 優太	「ありがとう」 みんなの心を いやします
	6年 光永 美稀	その個性 悪いとこなんて 一つもない
箭田小学校	5年 竹下 陽翔	今日からずっと 笑い合える みんなが一番
	6年 今井 優	「大丈夫？」 その一言に ありがとう
呉妹小学校	2年 永川 結月	「いっしょにあそぼう」 うれしいことばを ありがとう
	6年 大岡 陽菜	ありがとう えがおあふれる あいことば
真備中学校	1年 守屋 祥太	見つけよう 自分と違う いい意見
	2年 清水 柚稀	差別ゼロ 一人一人が オリジナル
	3年 中西 雛詩	教えてね 声に出してね その思い

倉敷市人権ポスター最優秀賞



箭田小 4年 小林 姫愛乃
優秀賞



真備中 2年 小島 彩椰



真備中 2年 清水 柚稀

人権だより 33号

ふれあい

発行 令和6年3月
真備中学校区
人権学習推進委員会
事務局 倉敷市真備公民館
倉敷市真備町箭田1685
TEL 086-698-0042

真備・真備東中学校区

合同研修会

令和6年2月4日(日) 場所 真備公民館

新のぼり旗デザイン表彰、人権作文発表、京都フィールドワーク報告が行われました。人権作文では、性の多様性、言葉の暴力、思いやり、子どもの虐待等をテーマにした発表でした。それぞれの視点から、自分の思いや課題解決に向けた取組をしっかりと考えて発表していました。大きな声で堂々と発表している態度はとても立派でした。

「誰もが、自由に、明るく平等に生きていける
社会の実現に向けてがんばります。」(真備陵南高等学校 西山さんの発表より引用)

参加者感想

- ・身近な話題について、小・中・高生、それぞれの視点からしっかり考え、問題提起がされ、「自分はこうしていきたい」という主張を聞かせていただきました。これから生きていく若い世代が、全ての人にとって住みよい世の中をつくるための提案をしてくれ、とても頼もしく感じました。
- ・誰もが相手を尊重し、思いやりの気持ちをもつことができれば、いじめや差別はなくなるのではないかという子どもたちのストレートな言葉に心が動かされました。一人ひとりが人権意識と向き合い、その解決に向けて一歩踏み出しているところがすばらしいと思いました。

人権作文発表者

真備陵南高等学校	2年 西山 奈々美	「普通」を変えたい
菌小学校	6年 湯口 はな	言葉の重み
呉妹小学校	6年 長谷川 睦一	つなげよう、思いやり
真備東中学校	2年 石原 千乃	幸せを守る
真備中学校	2年 小島 彩椰	どんな相手とでも



「つなげよう、思いやり」

呉妹小学校

六年 長谷川 睦一

「思いやりの輪をつなげていこう。」これは、僕が、日々の生活の中で大切にしている言葉です。この言葉を大切にすることができると、毎日を楽しめるようになります。この言葉を大切にすることができると、僕は今、友だちと同じようなことで悩んでいる人を見たら、あの時うれしかった言葉を今度は僕がその人にかけて、元気づけてあげたいと思いました。そうすることで思いやりの輪をつなげていくことができると感じました。そして、僕は今、友達同士でけんかをして困っている人を見かけたら、話を優しく聞き、励ますようなアドバイスを積極的に行っていきます。そうやって優しい思いやりの気持ちをどんどんつなげていっています。

低学年の時、友達とボール遊びがしたかったのに、うまく気持ちが伝えられず、輪に入ることができなかったことがありました。当時の僕は、うまく気持ちを言葉で伝えられなかったり、相手の冗談を真に受けてしまったりするところがありました。自分も直すべきところがあることは分かっていたのですが、友達とうまく遊べず、当時は、少しさみしい気持ちになっていました。そんな時に、様子を見ていたある一人の友達が、「どうしたの。大丈夫。一緒に輪に入ってくれようよ。」と言ってくれました。その言葉が、

僕はとてもうれしく、今も心に残っています。これから先、僕と同じようなことで悩んでいる人を見たら、あの時うれしかった言葉を今度は僕がその人にかけて、元気づけてあげたいと思いました。そうすることで思いやりの輪をつなげていくことができると感じました。そして、僕は今、友達同士でけんかをして困っている人を見かけたら、話を優しく聞き、励ますようなアドバイスを積極的に行っていきます。そうやって優しい思いやりの気持ちをどんどんつなげていっています。

このように僕が、意識的に生活していくと周りの友達の笑顔も増えていったように感じます。僕はみんなが思いやりをもって、お互いに相手のことを尊重し合うことができれば、世の中はいじめや争いのない平和な社会になると思っています。

今回学んだことを、残りの小学校生活、そして、これから始まる中学校生活の中で生かしていけるよう、心がけていきたいです。

第2回 人権教育講演会 令和6年1月14日(日)

音楽は心のビタミン ～免疫力アップのために～

岡山県健康づくり財団保健部附属診療所副所長 **岸本 寿男 先生**



尺八に始まり、尺八に終わるすてきな講演でした。尺八とピアノの音に聴き入り、心が癒されたひと時でした。前半は、これまでに岸本先生が取り組んでこられた病院でのロビーコンサートや音楽療法について紹介がありました。後半は、音楽と心の関係、音楽療法の歩みと目的、うつ状態と音楽等について説明がありました。その時の心の状態にあった音楽を選んで聴くことで、感情のバランスが修復し、精神状態が安定する(同質の原理)ことを学びました。音楽を楽しむことの大切さを実感し、音楽が国境を越え、国が違ってても互いに手を取り合って助け合うことが今こそ必要であると感じました。

参加者感想

- ・尺八とピアノの演奏がすばらしかったです。心のビタミンをいただきました。生で聴くのは初めてだったので、本当に感動しました。時間がとても短く感じました。
- ・音楽がストレスを和らげるために一役買ってくれるという体験は、今までを振り返ると多分にあったように感じます。心の安定、穏やかさのためにも、うまく音楽を取り入れたり、自分の好きなものを見つけたりすることを大切にしていきたいと思います。
- ・世界の至る所で演奏され、人とつながっていく、まさに音楽は国境を越えるのだなと感じます。音楽と心の関係、音楽療法のことも知ることができ、音楽が様々な人の心を動かすことを理解することができました。
- ・ダニ音頭が楽しかったです。



倉敷市まびの道とのふれあい交流会 令和6年1月17日(水)

「多肉植物の寄せ植えを楽しみましょう」

最初に、酒賀 範子所長さんから施設について説明をしていただき、作業の様子も見ていただきました。細かい作業を根気強く、ていねいに取り組みられていました。「多肉植物の寄せ植え」では、好きな植物を3つ選び、各々が配置を考えながら自由に植えていきました。初めて聞く植物の名前ばかりでとても勉強になりました。後半は、通所されている方や職員の方々と一緒にすごろくゲームをしました。「好きな歌」や「ここだけの話」などを聞くことができ、笑顔いっぱいの楽しい交流会となりました。



二万幼稚園

令和5年9月21日(木)
講師 絵本作家 **村中 李衣 先生**

「親子でやわらかな絵本の読みあいを」

「ダンボールで本棚づくりをして、会場をかざります。」保護者に作り方を伝えながら、和やかな雰囲気の中、遊戯室があっという間に「絵本の部屋」へ。

前半は園児も一緒に。3歳児もお話に引き込まれていきます。そして、保護者と園児の読みあい。兄弟姉妹がいない今は二人だけの貴重な時間に。

後半はワークショップと質問コーナー。豊富な経験からの的確で深いお話が次々と。「気づいた時からはじめたらいいですよ。」

幼児期に家族から大事にされ、きちんと向き合ってもらった体験や人とつながる心地よさは信頼感の醸成につながります。村中先生の「読みあい」は絵本を介してのつながり、双方向の響き合いが親子で生まれる場なのだと感じることができました。



人権のぼり旗 新デザイン決定

来年度は、3年に一度の人権のぼり旗のデザインを更新する年です。真備中学校美術部の生徒さんからデザインを募集しました。どれも、甲乙つけがたい作品ばかりで、審査をしてくださった人権学習推進委員会の代表の方々の頭を悩ませましたが、一次選考、二次選考、最終選考を重ね、2年生 平井 心春さんの作品に決定しました。

2月4日(日)の真備中学校区と真備東中学校区との合同研修会で新デザインの発表並びに平井 心春さんの表彰を行いました。

新のぼり旗は、令和6年度から令和8年度までの3年間、人権啓発のために使用します。全国人権週間(12月4日～12月10日)に合わせて、真備中学校区の学校・園・公民館、分館等に掲揚します。また、真備公民館での人権に関する行事等でも使用します。

応募してくださった生徒の皆さん、ありがとうございました。



人権ポスター・標語展示

12月2日(土)～10日(日)



真備中・真備東中学校区の各小中学校より募集した人権ポスターと人権標語を真備公民館1階ロビーに展示しました。倉敷市教育委員会人権教育推進室へ出品されたポスターも併せて展示し、多くの方に見ていただきました。お孫さんの作品を見ていた方や作品の前で記念写真を撮っていた親子連れの方等、微笑ましい光景が多く見られました。

